第１３回 南部地区街づくり協議会　議事録	
開催日時	平成30年３月23日（火）10：00～12：00
開催場所	４階　特別会議室
出席委員	委員８名
欠席委員	委員６名　井上委員、中西委員、澤田委員、中山委員、中西委員、伊藤委員
事務局	上田課付課長、島田主査 （ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑ） （農林課）山村課長（産業振興課）東次長、米田係長（文化財課）松本課長、石田主査
決定事項	

議事内容

１．開　会　－10：00－

２．市長挨拶

３．議事

以下、議事進行は会長が進める。

（地区内及び市内における取組みについて）

会　長

・地区内において地域の方々のご尽力により様々なプロジェクトが進んできている。
まずは地区内の全体状況を整理する。

（南部地区活性化プロジェクト全体整理）

事務局

※資料「第13回南部地区街づくり　全体整理資料」により地区内のプロジェクトや地域の取り組み等について説明。各事業の具体内容については以降の議事で説明。

（生活支援・健康づくりについて）

事務局

※資料P1～2「ならコープ移動販売状況」により説明。

・赤字で一か所毎週水曜日の７番北檜垣町公民館が追加されました。当初の運営から早くも増やしていただき、朝和・柳本校区で計16か所水曜日と金曜日に販売箇所を回っていただいています。裏面には運行マップをつけさせていただいている。運行の内容はトラックの荷台を改造した移動販売車で、600品目ほどの生鮮食品、野菜、肉、魚から日用品までを販売していただいている。

・写真は販売初日の朝和公民館の写真です。娘さんと一緒に来た方に話を聞くと今までは娘に車で連れて行ってもらっていたがここなら母親一人でも来ることができる。長柄公民館では車の到着を待っている人もいた。また、住民同士が顔を合わすコミュニティになっていた。
西長柄公民館は到着が少し遅れたが多くの買い物客が集まっていた。西長柄は特に盛況で今でも

多くのお客様が利用している。萱生町の柿木オーナー園の前。大和神社では地元の方の了承のもと鳥居のすぐそばで前の道路からも見えやすいところで販売させていただいている。石原自転車さん前、ふたばさんの前、フラワーショップたんぽぽの前ここは一番お客様が多い。20 人以上来られることもある。イオンが休業中は従業員一人ではさばくのが困難なほどだった。買い物客単価は平均 1000 円強程度でコープが目標としている売り上げは大きく超えている。このままいけば４号車の導入も考えていきたい。

会　長

・早速北檜垣町公民館がふえたのと、今は目標が達成されている中、４号車が導入されれば市内の他の地区の方も助かるかなと思います。今回何かお気づきの点があれば。三橋議員いかがでしょうか。

委　員

・私も見に行かせていただいた。だんだん定着化してきて買い物をしている様子も両手に商品を持たれ１週間分をまとめて買われている様子も見られた。便利になったと喜ばれていた。

委　員

・最初スタートした時は知らない人も多くショックだった。来ている人の会話を聞いていると元気かどうかの確認をしている。コミュニティができてきている。多くの人が来てくれて驚いた。

会　長

・多くの方に来ていただいたということとまだ知らない人もいる。チラシを１度配布させていただいたが、年度の替わるタイミングでもう１度周知をしてもいいのではないか。
本件についてお気づきの点はありますか

委　員

・見たことがない。柳本でも知らない人はいっぱいいる。ひばり公民館の方では知らない人も多い。朝和・柳本で更なる周知をしてほしい

会　長

・わかりました。年度明けに向けて校区・自治会とも相談して広めていきたい。
・続いてなかよし食堂についてです。この地区では子ども食堂というよりは高齢者の方も含めた多世代交流として行ってもらっている。状況の説明をお願いします。

(なかよし食堂について)

事務局

※資料 P3～4「なかよし食堂」により説明。

・なかよし食堂ですが、柳本公民館・式上公民館ですでに２回ずつ開催していただきました。
現地の様子としては、提供いただいた食材を活かし、子ども達に食事を提供する中で、交流という点では公民館でサークル活動されている場所に子どもが行き将棋などを教えてもらっている。
森田会長からご説明お願いします。

委　員

・当初、校区の子供会に頼んでいた。いかに公民館に子どもを呼べるか。子供会から子ども食堂をやらせてほしいとお願いされた。子ども食堂というと新聞等のイメージで貧困家庭・孤食というイメージがあるので敬遠されて「なかよし食堂」という名前にした。今までに４回開催しメニューは全てカレーでした。米、玉ねぎ、にんじん、じゃがいもは無料でいただきました。経費として、1 回 10,000 円程度かかるが、大人は３００円いただくのと寄附などもあります。食材は安く手に入るので継続できている。最低で 40 人、最高 71 人来た。だいたい大人が半分、子供が半分で交流をはかってもらっている。その中で一番ヒットしたのが将棋です。１回目からしている。去年の 4 月から将棋の教室ができ、メンバーが 5・6 人いて月に１回の活動をこの日に変更していただいてやってもらっている。子供相手でも真剣勝負になり、２回目もやってかなり人が集まった。また、榊先生にもお願いして折り鶴教室をしていただいた。女の子は熱心にやっていた。何とか公民館のイベントを利用しながら活動している。

会　長

・今、市内では丹波市、櫟本。あと、山田では高齢者の方を招いた食事会として広がりつつある。それぞれの事情に応じて活発に進めていきたいと思っている。広がってくると野菜等の提供・供給も増えてくるので広げていきたい。皆様方から何かご質問やご意見を伺いたい。

委　員

・食品・口に入れるものなので衛生面の管理はどうしているのか

委　員

・うちの場合は１人だけこのために衛生管理責任者の講習を受けている。それも、移動してもいい免許をもっている。柳本と式上を移動しても大丈夫なように。それと保険には入っている。

会　長

・イベント保険のようなものですか？

委　員

・イベント保険は公民館が入っているので食中毒の保険に入っている。

委　員

・１番気になるところですからね

委　員

・保険の金額はびっくりするくらい安い。

会　長

・その辺の立ち上げに当たっての注意点を整理出来たらほかの地区も始めやすい。まだ、朝和はこれからですね。どこかでできてくるといいなと思っています。

委　員

・県の補助金はどう使っているんですか

会　長

・今、取りに行っている。

委　員

・１回につき２万円もらえる。

会　長

・確定ではないんでしたっけ

委　員

・申請したらもらえます。

会　長

・農関係のほうからご意見いただければと思うのですが、松井会長・森下委員、こういう動きが広がってくれば是非地元の農家の皆様にもご協力いただきたいがどうでしょうか

委　員

・また、材料を提出させてもらえるような広報をやってもらえれば。

会　長

・丹波市では１番の責任者に善福寺のご住職になっていただいている。地元の農家代表者会に頼みに行ってもらえるような繋ぎをさせていいただいている。何が欲しいのかということをだいぶ聞かれた。

委　員

・大変だと思う。販売できるほどの量を作っているわけではない。

会　長

・カレーはだいたいなんでもいける。今までもジャガイモの代わりにサトイモが入っていたり、白菜が入っていたり、豆が入っていたことがある。なんでもいけるかなと思います。是非とも今、根づきつつあるのでこの取組も新しい公民館、多世代交流の在り方だと思うので是非お力添えをお願いしたい。

委　員

・どこに配布しようかということで揉めたことがあった。結局は幼稚園と小学校の子供全員に配布した。

会　長

・それはうちのほうも、教育委員会も全面的に協力するので問題ないかと思います。

委　員

・カレーが基本ですか。

会　長

・そうですね。月に何回かであればカレーでいいかなと思います。

委　員

・月に２回してます。

委　員

・それでも、まだ子供会活動はやっているんですか。

委　員

・そうですね。柳本は活発ですよ。

委　員

・朝和は少ない。ない。

委　員

・柳本でも大町のほうはあるけど、柳本町では無い。

委　員

・あえて残している。消すなと怒っている。

会　長

・こういう機会に集まれば、入ってもらうきっかけになっていくので、気軽に来られるタイミングを作っていかないと難しいかと思う。

委　員

・日赤にも応援に来てもらっている。あちこちに行かれているようです。

会　長

・佐保短期大学に手伝ってもらう橋渡しを市でもできるので、関心を持っている方を繋いでいきたい。

(長柄運動公園の整備・活用について)

会　長

・長柄については、鳥山会長にじゃんじゃん市で画期的なレイアウト変更をしていただき、たくさんの人に来ていただいた。人が来ているいい流れを普段にも繋げていきたい。体育館の工事で地元にはご迷惑をおかけしましたが、どんな状況かを説明させていただきます。

事務局

※資料P5～8「長柄運動公園の整備・活用」により説明。

・アリーナにつきましては前回説明させていただきましたように進めています。その他にトイレの洋式化、温水シャワーの整備、特に入り口部分にはニュースポーツのボルダリングの壁もつけさせていただきます。

今日特にご紹介させていただきたいのが、指定管理者の方でも、整備に合わせてトランポリンができるようになるのでトランポリンの有名な選手に来ていただいたり、バスケットボールの教室もバンビシャスならと一緒になってしています。

・今回、ウォーキングコースの体験会を行いました。コンパクトな実施ではありましたが様子を説明させていただきます。約1.5キロのウォーキングコースで随所にある健康遊具を結ぶようなコース設定となっています。理学療法士の先生と本市の健康推進課と一緒に健康遊具の正しい使い方、運動の仕方を学んでいただいた。当日は、西長柄の住民の方にたくさん来ていただき、運動の前には血圧の測定をしてもらい運動をしても良いかを調べてもらい、次に座学がありました。

単に歩くだけでは膝を悪くしてしまうので間に筋力トレーニングを挟むことで効果的な運動ができるという説明をいただいた。現地に移り、スタートは１番南側のトイレがある広場で、ここでストレッチをしていただき、設置されている健康遊具を使用してもらった。みなさん積極的に行っていただいた。スタートしまして、体育館の西側にはラダーという足のステップを踏むペイントが地面に描かれています。体を動かすのと同時に頭も動かすことが大事で割と難しいです。肩を回すストレッチの器具があったり、大股で歩いていただく区間などもあります。１番南西のポイントで折り返すコースとなっています。今後もこのような体験会を行っていき、市内の都市公園に健康遊具の整備を進めているので、ここで学んでもらったことを自分の地域で実践していただけたらと考えています。

会　長

・議会の皆様も含めてあそこが工事中なのかどういう状況なのかということだと思いますが、アリーナの部分はもう開いています。ほかのシャワーやボルダリングの部分も含めてオープンする時期が３月末ですので地域の皆様にお披露目する機会をセッティングしていくのと、物販コーナーの説明をお願いします。

事務局

・スポーツをしに来る方が中心ですので、エスエスケイからスポーツ用品を販売していただくのと、地域の産品を販売していく。平日・休日・イベント時などに合わせて商品を販売していこうと調整しています。

会　長

・これについてはまだまだ知らない方も多くいると思いますが、今日は商工連盟として来ていただいていますが、鳥山会長、ライオンズクラブがグラウンドゴルフをされる時に健康づくりのイベントを組合すことは可能ですか。全校区から集まられますよね。

委　員

・毎月 500 人ほどが参加しています。グラウンドを全面使わせてもらっても全員が一斉にはスタートできない。待っている間に活用していただくことは可能ですし、そのほうが参加者に喜んでいただけるとは思います。

会　長

・また、連携して広めていくきっかけを作っていけたら。また、来年度のじゃんじゃん市は中のことを知っていただく１番いい機会だと思うのでご協力よろしくお願いいたします。

委　員

・島田さん、今度 JC が長柄運動公園を使ったイベントを企画しています。そういう時に周知を図ってもらえたらたくさんの方に喜んでもらえると思います。

会　長

・JC のイベントも川口県議が中心となって各校区と調整されていると聞いている。全校区から集まっていただけるので中を知ってもらえる機会かと思うので連携をしていきたい。他に体育館につ

いてご質問等ございますでしょうか。

委　員

・関連なんですが、長柄運動公園の体育館、健康遊具の利用に伴い、九条バイパスが完成すれば利便性が向上すると思います。私が良く聞かれるのは、いつ完成だということです。それについての話がなかなかなくて、私の経験上でこれは川を移動して橋をかけてというふうになると思うので時間も費用もかかるとは思いますが、県からどういう説明を受けているかを共有してもらわないと私も聞かれたときに答えようがない。

会　長

・私が聞いているところでは、予備設計が進んでいる中で、30年度に用地買収に取り掛かり始められればと聞いている。結局それがどれくらい早く用地がご協力いただけるかによって、着工しても飛び飛びだとできないので、着工するに意味がある程度のまとまりができれば平成31年度のどこかで工事にかかり始めたいと奈良土木事務所は示している。今も測量に関してはイオンの目の前の場所で若干だけ応じていただいていない方もいらっしゃるが、進んでいますので次は30年度にどれだけ早く用地に関することから進んでいけるかというところです。あと、30年度中には田に降りていくスロープなどの細かいところの調整も行うと聞いている。31年度にどれくらいの区画ができるのかによって、だいぶ完成は変わってくる。着工まで行けば地元の雰囲気は変わると思っている。

委　員

・20年ほど前に聞いた話ではこれはできないと。なんでだと聞くと、川を移動しないといけないからだと。今回も同じことになるのでは。

会　長

・河川協議はまとまりました。29年度に河川部局と土木部門の協議はできた。県としても川を動かさないでやる補償よりも動かした工事の方が経済的に良いという判断です。もちろん工期には影響してくると思います。私自身もまだ仮に31年度に着工出来たらいつが完成だというところまでは聞いていない。また、確認していきたい。

委　員

・周りからは５年先にはできるんじゃないかと聞く。5年ではたぶんできないとは思うが、10年先になるのか15年かかってしまうのか。

会　長

・10年ということになると逆にできなくなってしまう。できるだけ着工した段階で予算がちゃんとついてパッといけるかの勝負になると思う。

委　員

・距離から言えば２ｋｍ弱ですね。

会　長

・予算付けさえできれば、名阪側道はもう少し長かったが、一年でできたので不可能ではない。と

にかく用地だというふうに聞いている。

委　員

・川の移譲、橋台が２基。道だけなら可能だと思うが、質問に来られた時にどう答えていいものか。

会　長

・また、どう答えたらいいかを我々のほうでも確認させていただく。お正月に協議したときにはそんな話でした。

委　員

・正確な情報がないので、よろしくお願いします。

会　長

・情報を確認して議会の方から共有させていただきます。それでは、次の項目にいかせていただきます。ブランディング事業として進めているモノづくりと地域を繋ぐ取組を説明させていただきます。

(ブランディングモノづくり)

事務局

・天理ブランド産品として平成28年度は南檜垣営農組合の青豆豆乳、森田アロエのハンドクリーム、ジャムキッチンタータンのジャム。そして、平成29年度は山中農園の刀根早生柿とあんぼ柿の商品開発をグラフと一緒に取り組んでいただいている。写真は山中さんとグラフの服部さん、寺田さんで商品開発のミーティングをされているところです。山中さんは減農薬、有機栽培などで生産していただいているが高齢化による周囲の生産量の減少の中で刀根早生柿の伝統を守っていきたいという強い思いで事業に取り組んでいただいている。２年間で６つの事業者の商品が生まれるので天理のめぐみ・魅力を発信できるように継続していきたい。

会　長

・展開状況や売り上げはどうか。

事務局

・展開としては今年の３月末で山中農園の柿と、櫟本丹波屋善康の落雁、山崎豆腐店の豆腐商品と豆足が商品化します。コフフンショップ、トレイルセンター等市内を中心に販売し、南檜垣営農組合の商品は良く売れている。

・先日、資料11ページにありますめぐみめぐる天理ブランドのイベントを大阪でさせていただいたのでその様子も説明させていただきます。

・天理ブランドの発信ということで歴史観光・芸術文化・モノづくりといった天理の魅力を発信するために大阪心斎橋のスタンダードブックストアで３月17日にプロモーションを実施しました。ブランディングプロデューサーの服部さんと奈良県立情報図書館の千田館長を招き、並河市長にもトークに入っていただき奈良のめぐみをめぐるというテーマで奈良と天理の歴史文化を中心にそれぞれの視点で話していただきました。その中で平成33年開村の奈良県国際芸術家村の説明もしていただき、奈良・天理が芸術文化の価値の高いエリアと参加者に認識していただいた。

当日は、南檜垣営農組合のアヤミドリを使った青豆豆乳を実際に山崎商店の山崎さんに登壇していただき、商品ができた背景やコンセプトを話していただきながら商品を試飲していただき好評を得ていました。今後も、天理ブランドを文化芸術・デザインの意識が高い方、特に現役世代の方に向けて天理に興味を持ってもらえるよう県外のプロモーションを続けていきたい。

・補足説明させていただきます。今までの商品をブランディングすることで売り上げの裾野が広がってきています。市内以外でも百貨店や東京での販売、取組が雑誌で取り上げられ、景品として使わせてほしいという依頼もあった。かなり広く今までにない流れはできてきている。

会　長

・松井会長、何か状況等についてご意見ございますか。

委　員

・豆乳は山崎さんに製造をやってもらっている。我々はイベントの際に販売させてもらっている。豆の提供量も増えてきているのでがんばってもらっている。

事務局

・資料はなく写真での紹介となります。柿の葉を使ったプロジェクトで柳本町で取組が広がっています。先日、納品先である柿の葉ずしのヤマトへ工場見学に行ったので紹介させていただきます。五條の工場に行きました。ヤマトの強みは自社精米をしていることで、米は新潟県産を使われている。柿の葉は大手の多くは中国産を輸入している。供給量・品質は安定している。朝和・柳本の柿の葉を納入していただき、ヤマトも注目している。実際に現場を見たことで生産者の機運は高まっています。ヤマトとしても国産という付加価値は大きいので、できるだけ100%国産にできるような供給体制を作ってほしいという要望があった。前回、柿の葉茶を飲んでいただきましたが、乙木町では宗助ブランドのショールームとして整備して販路拡大に動いている。資料16ページの婦人画報に取り上げられています。今回は大和野菜の特集で、繋がりとしては佐藤オオキさんと取材していただいたシェフが知り合いで、ぜひ取材したいという話をいただいた。

（地域をつなぐイベント）

※資料P13～P15「地域をつなぐイベント」により説明

事務局

・ノルディックウォーキングのイベントですが、三木スポーツ商会が毎月第１日曜日に長柄駅をスタートとする普及活動をされている。去年は天理市と共催で有料イベントを３回させていただきました。天理駅をスタートし、石上神宮・山の辺の道を歩きながらトレイルセンターまで歩きました。道中では長岳寺の地獄絵について住職の説法、天理大学の歴史文化・考古学の学生に古墳等の説明をしていただくことで地域に触れていただいた。それから、15ページです。サイクリングのイベントを3月11日に開催しました。天理市での大きなサイクリングイベントは初めてでした。FABUプロジェクトという自転車のレースのイベントを主にされている団体に天理市をめぐるサイクリングのイベントを企画していただいた。天理市役所をスタート地点とし、市内25か所にクイズポイントを設け、自由にめぐっていただくものです。南部地区では、大和神社、長柄運動

公園、黒塚古墳、長岳寺、トレイルセンターなど10か所をめぐっていただいた。途中で地域の食を堪能できるグルメチケットを２枚配布しました。柳本ではだるまのパン屋を紹介しました。もう１か所は勾田町の倭の里です。当日のエントリーが184名、県内が93名、県外が91名。アンケートによると、イベントによって天理市のイメージが変わった。自転車で巡れるエリアだと認識できた。地域の歴史を見ながらサイクリングができて良かった。自転車で回るので広範囲の観光ができるので可能であれば、奈良市内、桜井市、田原本町などに広げたほうが楽しいと思う。レース形式ではなく散歩感覚で観光スポットなどをめぐるというイベントを増やしていきたい。

会　長

・市が主催のものから民間が主催のものに切り替えていっています。議会からも体験型のふるさと納税を増やすべきだと今西議員からもご指摘いただいている。こういうイベントに参加できる物も増やしていければと思う。モノづくりの部分とイベントの部分を説明させていただいたが何かご意見等ございますでしょうか。

委　員

・駐輪場はどうしているんですか

事務局

・お店独自で準備していただいたところもあります。石上神宮、トレイルセンター、黒塚古墳等には市が設置したバイクラックがあります。ゴールが天理駅前広場でしたので、地下駐輪場を利用してもらい、90分無料の時間を利用して広場のイベントを見ていただいた。

会　長

・石上神宮のバイクラックは近畿大学の学生や米杉建設が作成したサイクルラックを活用しているんですよね。

事務局

・石上神宮にも置かせてもらっていたが、今は櫟本の清流庵に置かせてもらっています。

会　長

・来年度の市で考えている方向性のご紹介を。

事務局

・三木さんや自転車のイベントは来年度も継続していきます。また、４月22日に近鉄・南海・阪神電鉄が連携して「トライアングルウォーク」というイベントを開催されます。1,500人ほどの参加見込みです。

会　長

・次の議題として、観光・周遊促進についてトレイルセンター周辺の状況を共有させていただきます。

（観光・周遊促進について）

事務局

※資料P26～29「トレイルセンター周辺エリア」により説明。

・昨年の11月20日から11月26日の１週間「山の辺ウィーク」というイベントを開催しました。ウォーキングイベントやコーラスライブ、お話の会、鏡の鋳造体験や長岳寺での夜の地獄絵のご開帳などを行いました。春待ちライブを３月に３回開催の予定をしています。周遊観光の拠点というだけでなくトレイルセンターを軸に地域の文化・音楽・芸術を発信していきたい。

・また、「KURINOKI」でも音楽ライブや落語、講談、マジックショーなどを、料理を食べながら楽しめる機会を作っていただいている。今年も継続して開催予定と聞いている。バックロードというアメリカの富裕層向けの旅行会社の商品でトレイルセンターに来られる外国人もいます。トレイルセンターの庭でランチをビュッフェ形式でとっていただき好評を得ている。年間８回訪問されています。30年度も10回ほどの開催を予定している。

・年間の来館者数は昨年のおよそ２倍の70,000人です。

・料理として提供している地域の産品としましては、サニーレタス・ブロッコリー・味間いも等22種類の野菜を提供いただいている。果物については７種類です。天理以外の奈良県産の物も５種類使っています。

・上長岡ファームの加工所も整備が進んでいます。元々、お寺だった建物を改修して作られたので、ハイカーはもちろん地元の方にもどんどん立ち寄ってもらいたい。また、食品の営業の許可をとっているので加工商品も販売もされています。

会　長

・少しずつ今までにない動きもでてきたかなと思う。海外の方の訪問については東京オリンピックに向けて創生本部が力を入れている。200万円前後の予算で中期滞在される方々は購買力も高く、地方で取合い合戦になっている。トレイルセンター周辺がそういったプランに入るようになったのは大きな進歩であるが、泊るところがあればより地元への消費は増える。国の指標でいうと宿泊を伴う海外からの観光客が９人いれば住民一人が減った分を補完できる。現状、登大路ホテルのような高級ホテルはないので、芸術家村や空き家利活用も含めそういった宿泊施設ができれば違った流れが生まれるのではないか。なかなかこういった現状が市内で知られていないと思う。皆様でお気づきの点等ございますでしょうか。

委　員

・トレイルセンターですが、ハイカーがお弁当を食べようと入ってもレストランの順番待ちの方が座っているため入れない。順番待ちの人は外で待ってもらって、ハイカーの食事スペースを確保してほしい。

会　長

・今からGWの時期くらいまでがそういう状況になりやすいと思います。今回、駐車場の整備もやらしてもらったが、人が多いときは敷地内の駐車場は休憩スペースとして使えないかと指定管理者と協議をしていきたい。

・森田会長も味間いも等を提供していただいているがどうでしょうか

委　員

・よく売ってもらっている。11 月～１月の３ヶ月で約 900 袋売れた。土産として買われるのでよく売れている。

会　長

・山の辺の道は歩く人が中心なんで重いものを持って帰るのはいらんのであそこでは売れないというのが定説としてあったが、車で来る方もいるし、良いものは買って帰る。売れるという流れができれば近辺の農家の方の意欲にも広がれば。

委　員

・ちょこっとしたサイズが売れる。卵でも 10 個入りではあまり売れなかったが、４個入りに変更したところよく売れるようになった。

（トレイルセンター周辺エリアの観光駐車場整備について）

事務局

・黒塚古墳周辺エリアの案内を整備していくということで、黒塚古墳周辺エリアに関わりの深い方に集まっていただき分科会という形式で案内表示の検討をしてきた。ハイシーズンには長岳寺駐車場をはじめかなりの車が侵入してくるので上長岡の方にはご迷惑をおかけした。黒塚古墳の駐車場を利用していただくのはもちろんのこと、それに加えてより近い場所に乗用車２０台程度の駐車場整備を検討している。整備の主な理由としてはバスの進入による混雑の緩和、ハイシーズンの際に交通停滞の抑止です。黒塚古墳周辺の案内表示の整備もより効果的になるかと思います。

・黒塚の駐車場の案内板については業者に製作を依頼し、graf の服部さんにも相談させていただき、天理市の景観を崩さないものとして作った。また、本市の駐車場がコンビニの奥側にあるので、境界に置いているバリケードに関しても新しいものにします。国道を渡るのは危険なので 169 号線の下を通る通路への誘導のため西側階段のサインも併せて変更しています。柳本公園の案内板も改修し柳本まちづくりマップをはめ込んで新しくします。

会　長

・本当は山の辺の道近くにバスが展開できるところがあればよいが、場所の確保も難しい中で黒塚も有効活用できればと考えています。何かご意見・ご指摘等ございますでしょうか。

・新駐車場は 10 月の完成目途のため、春には間に合わないが秋のハイシーズンには間に合わせたい。

・次に、芸術家村の情報を共有させていただきたい。

（芸術家村進捗報告）

会　長

※資料 P30～32　芸術家村進捗報告」により説明。

・既に造成工事に入っており、33 年開村に向けて進んでいます。30 ページに書いているのが農村交流施設いわゆる道の駅機能です。ここには、農家レストラン、農産物の直販・加工ができる場所、ロードバイクの停められる場所です。１階が少し抜け感がある空間全体をつないだものになって

おり、２階に実習加工室、情報提供施設として周辺の案内をしていく。31 ページは複合棟の紹介です。地下に 300 席ほどあるシアターがあり、１階はいろんなところから来られた芸術家の方が制作活動できるスタジオや皆様が交流していただく場所ができてきます。他にも文化財修復棟があったり、特に地元の我々からすれば複合棟は市内のいろいろな芸術活動ができる場所になりますし、農村交流施設にはできるだけ地元産品が入れられるようにお願いをしています。指定管理を含め、どういう事業の進め方をするかはまだ県で確定していないので運営形態はこれからですが、33 年の開村は決まっているのでそこに向けて進んでいっています。32 ページは天理市として何をするんだということで、これは南部山の辺の道も含めて芸術家村の中だけが賑わっていても仕方ないので、周り全体を賑わうような形にするため天理駅前広場でやっているような活動やウォーキングイベントを芸術家村を見据えたようなものにしていきたい。瀬戸内の方は芸術祭が有名です。周辺の空き店舗や空き家を活用した取り組みをされていて、ゆくゆくはそういう風に持っていきたい。来年度は本通り商店街の空き店舗なんかも活用する、あるいは今、天理駅のすぐそばのパチンコ店が７月にゲストハウスに生まれ変わる予定です。そういった場所に海外も含めたアーティストの方に滞在してもらい制作活動をし地元で発表する準備をしていければと思う。芸術家村付近の市営の駐車場が５月に完成予定です。あと、西乗鞍古墳が文化財指定を去年の末に受けましたので市の負担は軽い形で購入をすることになっています。なので、今年の桜は間に合わないが、来年の桜はここで見ることができ整備した駐車場も活きてくると考えています。駆け足でありましたが芸術家村についてご意見、ご質問等ございますでしょうか。

委　員

・一番気になるのはどういう運営の仕方を誰がするのかが一番気になるポイントですね。

会　長

・今言われているのが、施設管理や道の駅については指定管理に出すが、文化事業については商売ベースでやるものではないので、県の方で芸術分野に通じた方を統括責任者としてマネージメントするような形を構想されています。ホテルについても視察がちらほら来ているがまだ決まっていない。森下委員地元として何か気になる点ございますか。

委　員

・どんな建物になるかはまだわからないですか。

会　長

・建物の外観パースはもうできています。風致地区でもあるので奇抜な色ではなく、奈良らしい瓦を使った建物になります。進捗があった際には本協議会で報告させていただきます。

・最後の議題ですが、空家の利活用と空き家バンクについてお願いします。

(空き家の利活用/空き家バンクについて)

事務局

※資料 P33～34「空き家の利活用/空き家バンク」により説明。

・南部地区の中、特に山の辺の道周辺で空き家のニーズが高まっている。空き家に移住したいとい

う話もいただくが、きちんと照会できる体制が取れていなかったので「天理市空き家バンク」のホームページを立ち上げました。３月 27 日より運用開始を予定しています。運用開始となりますが、載せていく物件の情報が重要ですので、委員の皆様には情報提供をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

会　長

・ほんまかいなと思うかもしれませんが、移りたい人のほうが多く、物件がないので紹介できないというのが現状です。NPO で空き家コンシェルジュをやっている方もつい最近山の辺の道での成約が実際にありました。今後整備しないといけないのが農家住宅の関係で農家じゃないと住めない問題などは整備していきたいが、まずは良い物件がとにかく欲しい。これは一律に調査しても出てこない情報なので委員の皆様はそれぞれ顔も広いと思いますので、空き家の情報があればどんどん提供してほしい。実際に何例か出てくれば一気に行くと思う。最近は生駒市の方でも旧村エリアに移っている人も増えている。これは、移りたい人が実際にいる。

委　員

・素人的な考えですが、法律の流れで国があって、県があって市がある。法律よりも強いのが条例と聞く。市長が言ったように農家住宅の問題は条例で何とかできないのか。

会　長

・法的な部分を変えてというのは条例では難しい。法の範囲を変えるのは難しい。特区になるとかであれば別。

委　員

・物流効率化法が５・６年前にできた。県に話を聞きに行くと法律より厳しい県の条例だった。

会　長

・条例で法律よりも範囲を狭める場合は条例が優先されるが、法律で決められた範囲を条例で広げるのは難しい。ただ、このままでは何もできないので物件ごとに状況の整理をしています。

事務局

・空き家バンクが今年度末にできまして、空き家コンシェルジュが管理しています。専門家ですので色々なご相談に乗ってもらえる。二の足を踏んでいる所有者が、気軽に相談していただくことで単純に売る、貸すだけでなくスポット利用など色々な方法もあるので資産の有効活用を提案していきたい。

会　長

・ようやく我々も海外の方たちにも来ていただけるようになってきて、移住という部分で本当の成果を出していきたい。重ねて、ぜひ空き家の情報をいただければと思います。

委　員

・鳥山委員が仰っていた農家になる要件ですが、天理市は 20 アール。基本は 50 アール。市の裁量で変えられる。最近は、極端に３アールくらいまで下げているところもある。そうすると、簡単に農家になれる。そういう動きも出てきている。

会　長

・そこはぜひ農業委員会の中でも議論を進めていただきたいのでよろしくお願いします。農業をきっかけに人に来てもらうためには基準を下げるのは有効かと思う。

委　員

・田舎に住みたい人は農業をしたい人が多いですよね。

会　長

・それは相当程度イコールに近いです。ただその時に、まったくやったことのない人はどうしたらいいんだろうというのがあるので、体験をできるようなものと組み合わせたり、水や村の共益費等を整理してあげたい。来年度、移住プロジェクトについてはしっかりやっていきたい。

（ご意見・ご質問について）

委　員

・長柄駅周辺に駐車場がない。止めるところがないので天理駅前のような有料駐車場を作ってほしいという意見がある。

会　長

・長柄駅の話がでたので、柳本駅の現状について報告させていただきます。今、京終駅が JR から奈良市に移管され、整備する事業を行っている。天理市も JR との協議の中で柳本駅の管理・運営を天理市が受け継ぐという協議を続けている。西側の改札駅だけでは受けてもらえない。駅舎の活用も含めて考えてくださいと言われている。こちらで計算してみたところ 5,000 万ほどかかる。今、市だけの負担でこの金額は負えない。狙っていける交付金があれば活用していきたいと思っているが、検討から次のステップが止まってしまっています。起債も含めて考えても、乗れる交付金が出てくればというところですので、一度、財政的な面から一時足踏みとなっています。

・今日の意見を元に来年度またしっかりやっていきたい。

６．次回の日程と主な協議内容

次回第 14 回協議会は状況を見て調整。事務局より改めてご連絡させていただく。

７．閉　会　－12：00－